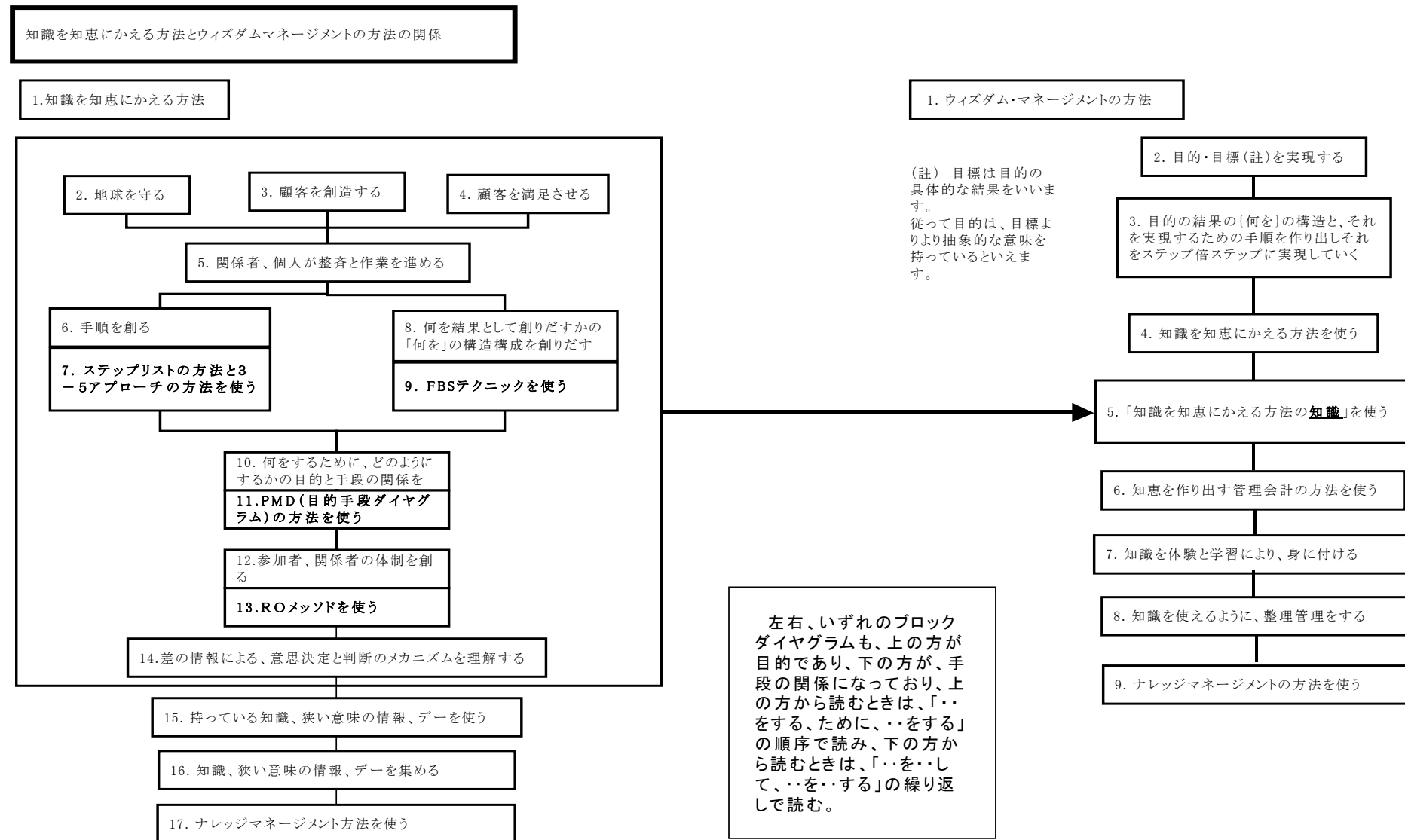


図表1 知識を知恵にかえる方法とウィズダムマネジメントの方法の関係



1. 知識を知恵にかえる方法とウィズダムマネジメントの方法の関係

知識を知恵にかえる方法とウィズダムマネジメントの方法の関係」を示すと、図表1のようになります。図表1の左側が、知識を知恵にかえる方法の目的と手段のダイアグラムで、右側が、ウィズダムマネジメントの方法の目的と手段のダイアグラムです。

いずれのダイアグラムも、上の方から、下の方へ「…を…するために、…を…する」の繰り返しで読んでいくものです。

知識を知恵にかえる方法がウィズダムマネジメントの方法の5の箱のところ入る関係にあるわけです。

この2つのダイアグラムを1つにすることもできますが、わかりやすくするため、ここでは、ダイアグラムを、2つに分けて結合させる形式をとっています。

この左のダイアグラムの中で、7のステップリストマネジメントと3-5アプローチの方法は手順を作るための方法であり、8のFBSテクニックは何をの目的の結果の構造構成を創り出す方法で、その下の、13のPMD(目的と手段のダイアグラム)の方法、13のROメソッドは、テーマごとに関係者の価値観合わせと体制をめで見えるように、整理をする方法です。

これらの方法は、逐次、知識を知恵にかえる方法(別名、DTCNの方法、新プロジェクト管理の方法)の中で説明していきます。

参考までに「知識を知恵に」をキーワードとして、WEB探索をしてみてください。いずれの、「知識を知恵にする」ためには、この、知識を知恵にかえる方法を、当てはめることができると思います。

